

- 臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い -

国立国際医療センター国際感染症センターでは、本センターで保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究を実施しています。

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問合せ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究に利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の問合せ担当者までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。研究対象者が未成年の場合には、保護者等からのお申し出を受け付けます。

[研究課題名]

海外渡航時動物咬傷後受診者を対象とした受診者渡航背景ならびに動物咬傷後対応に関する後ろ向き記述研究

[研究対象者]

2005年3月1日～2015年12月31日までの間に、海外渡航時動物咬傷後に国立国際医療センター（旧国立国際医療研究センター病院）を受診した方

[利用する診療情報等の項目と取得方法]

診療情報：受診時の年齢、性別、国立国際医療センター初回受診日、渡航国（渡航目的等）、動物咬傷が発生した日ならびに国・地名、動物咬傷発生時の状況、咬傷部位、咬傷カテゴリー（WHOのカテゴリー分類）、咬傷動物の詳細、受診に至った要因、動物咬傷後初回受診した日、初回受診した国、受診時狂犬病曝露後予防接種実施の有無、初回狂犬病曝露後予防の開始日、狂犬病曝露後予防接種の本数、狂犬病免疫グロブリン投与の有無、渡航前の渡航外来等受診有無、曝露前狂犬病予防接種の有無 等

カルテから上記に該当する情報を収集し利用します。

[利用の目的]

狂犬病曝露をした国での受診状況の把握を目的としています。

[研究実施期間]

研究の実施許可日より2027年3月31日までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本機構倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、利用・提供する診療情報等から氏名、生年月日等の情報を削除し、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱います。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者]

機関長：国立健康危機管理研究機構 理事長 国土 典宏

研究責任者：国立健康危機管理研究機構 国際感染症センター トラベルクリニック医長 氏家無限

研究内容の問合せ担当者：国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター

国際感染症センター 岩崎春香

電話：03-3202-7181（代表）（応対可能時間：平日10 時～15 時）